



まちなみ五月人形めぐり



▲五月人形を楽しむ園児たち

5月11日、北条西保育所と北条東幼稚園の園児たち計68人が、北条町北条地区の民家など3軒の縁側や玄関に飾られた五月人形を見学しました。

まちへの愛着を深めてもらい、住民同士の交流のきっかけにしようと、NPO法人まちづくり北条が企画。

訪問先で、持ち主から人形にまつわる思い出話を聞いた。子どもたちは、五月人形の歴史を感じながら、興味深そうに眺めていました。

まちを花いっぱい。老人クラブ



▲積み込み作業を行う播磨農業高校の生徒

加西市花と緑の協会は4月27日、花いっぱい運動として、市内136の老人クラブに、市花のサルビアとマリーゴールドの苗計2万5千ポットを配布しました。

育苗などの世話をした播磨農業高校の生徒が、苗を取りに来られた役員さんらの軽トラなどに積み込み作業を行いました。

配布された苗は、各町のまちかど花壇などに植えられ、夏から秋にかけて美しい花を咲かせます。

かしの木学園で北条鉄道の女性運転士が講演



▲講演する北条鉄道初の女性運転士、黒川純子さん

5月8日、「かしの木学園」が市内の4公民館で開講しました。

善防公民館では、開講式にあわせ、北条鉄道初の女性運転士、黒川純子さんが「これが私の進む道」と題して講演をしました。

黒川さんは、北条鉄道にまつわるクイズを出したり、北条鉄道の歴史や入社した動機、運転士になるまでの経緯などを話しました。

玉野路の歴史をめぐるハイキング



▲玉丘古墳。「ここは根日女が眠っているところ」と市教育委員会職員(左)から説明を受ける参加者

5月13日、加西市観光まちづくり協会主催のハイキング「玉野路・風土記の丘と古代石仏」が行われ、市内外から20人が参加しました。

参加者は、市教育委員会職員の案内で、「播磨国風土記」に登場する「玉丘古墳」をはじめ、「亀山古墳」や南北朝時代の「山伏峠石仏」、「玉野石仏」などを見学しながら、約6キロのコースを歩き、春の玉野路の魅力を感じていました。

賀茂幼稚園の園児がイチゴ狩り



▲真っ赤なイチゴを摘む賀茂幼稚園の園児

賀茂幼稚園の子どもたちが5月10日、東剣坂町の野田いちご園で、イチゴ狩りを楽しみました。

子どもたちは、「こんなに甘いイチゴは食べたことがない」と言いながら、うれしそうに摘み取って食べていました。両手いっぱいを持って、「もったいなくて食べられない」と歩き回っている子どももいました。

野田いちご園は地元へ何か貢献したいと、ほぼ毎年、地元の子どもたちを招待しています。

合気道・古武術のふれあい教室



▲護身術を体験する小学生

富合小学校では5月19日、合気道と古武術を学ぶ第1回桃子野ふれあい教室が開催されました。

合気道の師範が、体験談を交えながら、自分の身体を守るための護身術を指導しました。

参加した小学生は、師範と腕相撲をしたり、大人のように力の強い相手から手首をつかまれても、相手の攻撃を無力化するなどの独特の返し技なども学びました。

加西病院でふれあい看護体験



▲一日看護師さんとして、足浴を体験する参加者

加西病院は5月12日、看護の日に、看護についての理解、関心を高めてもらおうと「ふれあい看護体験」と「ふれあいコンサート」を開催しました。

看護体験では、中学生と高校生の計13人が、血圧計などの使い方を学んだり、入院患者の足浴をしたりしました。参加者の一人は、「体験して看護師になりたい思いが強くなりました」と話していました。午後には加西中学校の吹奏楽部による演奏会が行われました。

第35回・町親善ソフトボール大会



▲地域の交流と熱戦を展開しました

加西市体育協会主催の町親善ソフトボール大会が4月29日、アrajinスタジアムなどで行われました。

1部に16チーム、2部に14チーム(計500名)が参加しました。結果は次のとおりです。

- 1部 優勝/古坂、2位/横尾、3位/中野、東高室
- 2部 優勝/古坂1丁目、2位/鶴野南、3位/笹倉、大内

※古坂と横尾は加西市代表として、北播大会に出場予定